

スタート

くらべっこ横行

(狭小な価値基準社会)

何かがおかしい？  
保育がマンネリ？

「ゆうぎ会」の持ち方はじめ、  
保育全般に自信がもてない

教師主導のプログラムではなく  
子どもたちがやってみたいプログラ  
ムに取り組む 突破口となるか

「ゆうぎ会」名称改め  
「発表会」とする ※1

**小手先感だけ**

言葉遊び段階

思いと使う言葉が浮遊している

納得いかないモヤモヤ  
が尚もつづく

扉が開かれた！！！！

頭では 共感。納得。  
大いなる憧れ

馴染みのない言葉に困惑  
職員の共通理解にばらつき

しかし  
まったなし!! 断行

子どもに時間・空間を返す

現場の新知見 90分  
子どものあそびが替わる。

子どもを 子どもたちを  
「人」「人たち」と  
表現する園に出あう

**覚醒！**

**まず 真似る**

**職員必ずお手本園の  
公開保育に参加**

全体活動の必要性、環境の構成  
が理解！？

現場が穏やかになってきた

本来の子どもの姿に 出あう

改めて はじめまして！

そして、わたし自身=保育者に

「失敗」の二文字封印！  
はじめてのことに”失敗”  
はなし  
”気づき” あるのみ

## 『気づき』に問題、課題 続出

気づきは 子どもから  
同僚から  
自分から  
保護者から

ひとつ ひとつ 話し合い  
実践  
安心材料の蓄積

今でいう 断捨離

必要な もの こと が  
はっきり。  
見通せる

納得ずくの名称変更  
「発表会」から「表現の集い」※2

## 『表現の集い』 冊子のことば

自分の中にある「何だかわからないもの」を何かの形にして外に出すこと。よくわからないものを外に出すのは、自分を把握するためである。 — 自己表現 —

〈表現〉は、まさに人の営みそのもの。

- ・人の誕生は表現の誕生ともいえるでしょう。
- ・ひとりとして同じ表現がないということにもなるでしょう。

愛おしいかぎりの今を生きる子どもたちです。  
お楽しみください。

子どもと共に 表現がテーマの園です

躊躇なく ひらめき を試行

思考 選択 決断 実行

子どもも 保育者も  
ともに 試行錯誤

※3

※4 準備中

信頼

唯一 それは

子ども

毎日が  
はじめて

意識改革

これからの課題

- 子どもの権利
- ジェンダー
- 幼小連携

新課題

キーコンピテンシー